

## #775 従来施工の選択肢はない！ＩＣＴ施工が当たり前時代の時代へ



### ■■ 現場詳細 ■■ 埼玉県幸手市

首都圏氾濫区域堤防強化対策に伴う江戸川右岸の堤防強化のための工事

【施工範囲】L=約580m 【施工土量】盛土 73,000m<sup>3</sup>

【稼働建機】PC200 i /D61PXi

【ソリューション】Smart Construction Dashboard/ペイロードメーター

(掲載月：2023年3月)

### 安心のサポート体制が決め手



### ■■ 導入経緯 ■■

戸邊建設(株) 土木部 稲橋嘉彦さん

当社は4年ほど前からＩＣＴ施工を意識し始め、これまでもＩＣＴ施工を多数経験してきました。今となってはＩＣＴ施工が当たり前となり、従来施工は考えられません。

普段はＩＣＴに関する経験と知識を広く得るために、使用する建機メーカーのこだわりは特にありませんでした。しかし、今回の工事は土量が多く、日々の進捗管理が大変だと想定されたため、Smart Construction Dashboardで進捗管理ができることや、積載土量の最大化ができるペイロードメーターに魅力を感じ、コマツのスマートコンストラクションを導入することに決めました。

### ＩＣＴを通して更なる現場の進化に期待



### ■■ 導入効果 ■■

戸邊建設(株) 土木部 稲橋嘉彦さん

ＩＣＴ建機を導入すると、設計変更になっても3次元設計データを修正するだけで良いため手間が省けますね。オペレーターも作業をしながら、建機内のモニターで次の設計がわかり、作業を進めやすくなったと思います。また、ペイロードメーターを活用し最大積載量を運搬することで、最大限の施工能力を発揮できたと思います。

そして、ＩＣＴ建機の一番の強みと言えば丁張りが不要な点ですよね。施工前も施工中も丁張りレスな施工には大変助けられました。当社の若手作業員はＩＣＴ施工しか実施したことがなく、「丁張り」の存在さえ知りません。丁張りの大変さを知らないなんて驚きですね。

今後もＩＣＴの流れで建設現場そのものが変わるような画期的な進化に期待しています。

## 戸邊建設(株) 様

1946年 創業

野田市に根ざし、地域に貢献する。

地域密着型企业宣言。



土木部 稲橋嘉彦 さん